四国の川を考える会助成事業報告書

１．事業名：「遊んで学ぼう、鮎喰川。」

２．主催：「徳島の川に親しむダンスの会」（四国大学）
後援：徳島県、吉野川交流推進会議、神山町教育委員会、徳島新聞社
助成：四国の川を考える会

３．開催日時：2019 年 8 月 3 日(土)・4 日(日)
・1 日目: 13 時～16 時　川のお話し×川レク×川ダンス
・2 日目: 9 時～12 時　川レク×川ダンス×川アート

４．開催場所：鮎喰川(神山町下分栗生野／「てくてく栗生野」付近の水辺)

５．参加人数：130 名（子供 5６名・大人 52 名・スタッフ 22 名）

６．目的：
文化を育み自然と共存していこうとする子どもたちの姿が見られなくなっている現在において、「川」や「自然」と触れ合いながら「川を語り・川で遊び・川でダンス・川をアート」を通じて未来を生きる子どもたちに「川」の文化や「川」との付き合い方を教えることが出来た。

７．内容：
県内の子どもたちやその保護者と共に川に入り、川の話や様々な川遊びやアートを通して、「川」を知り「川」を感じて遊ぶ楽しさを実感してもらうイベントである。1 日目は、『てくてく栗生野』の施設長さんに「川」に纏わるお話しを伺った後、水辺でダンスし、水中宝探しなど様々な川レクリエーションを行った。2 日目は川ダンスや川レクリエーションと河原の石アート体験を実施。これら川で遊ぶ楽しさを通して、川の魅力を発信し、これからの川との付き合いについて考えていただける切っ掛けにしてもらった。

８．PR ポイント：
教員・保育士養成の学生が、県内の子どもたちや保護者、またダンスグループと一緒に活動し、参加者全員が「川」の魅力に気づき、「自然」と「人」との繋がりや「文化」について理解し、同時に仲間同士の絆を育めることになった。また活動全般を通して水防の大切さを身につけられた。

９．以下、資料参照（イベント当日写真及び新聞記事）

① イベント会場

② 水慣れ自由遊び

③　いかだ体験

④　水中宝探しで集めた石で文字づくり

⑤　水中玉入れ

⑥　水中ダンスー１

⑦　水中ダンスー２

⑦　水中ダンスー３

⑦　水中ダンスー４

⑧　８月３日参加の子供たち

⑨　８月４日参加の子供たち